

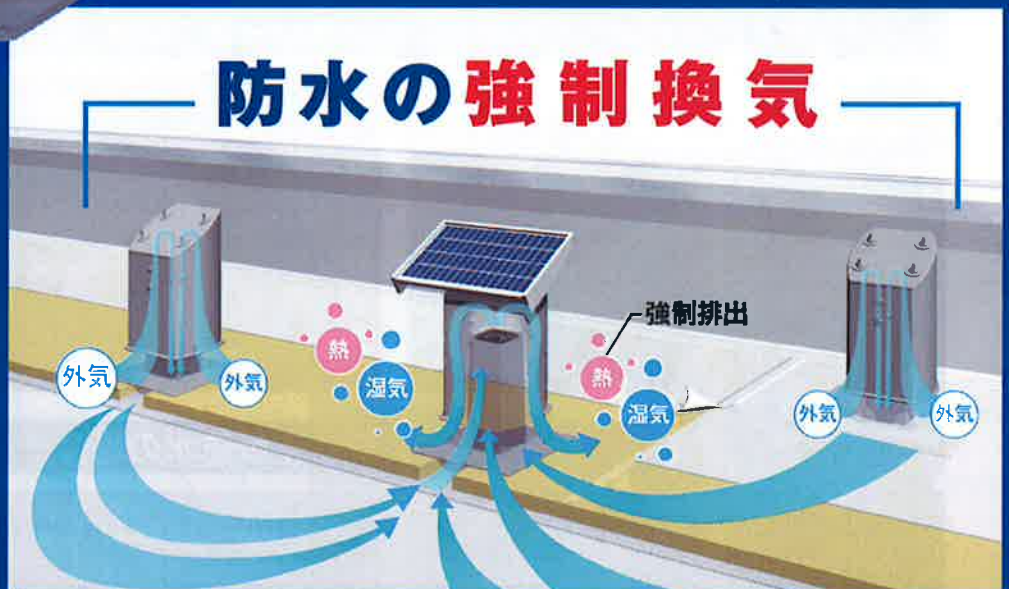
# 呼吸する 防水

ソベットルーフ®  
エアードライシステム

NETIS 登録No.TH-120012-A

国交省運用  
新技術活用システム登録済

建物躯体や  
防水層内の  
**熱**と**湿気**を  
排出し、建物  
を**長寿命化**



エアードライシステムの換気イメージ図



エアードライシステム  
特設ホームページ開設中!

QRコードを読み取って、アクセスできます。  
URL <http://www.a-yamade.co.jp/airdry/>

アークヤマデ

# 湿気が及ぼす防水層への悪影響は大きい。だからこそ、 湿度環境を劇的に改善する下地処理方法を！

改修工事の際に、既存防水の中に多量の水分を含んでいることが多く報告されています。露出工法の場合、コンクリート表面のクラックより、躯体内部にも浸透しコンクリートの強度低下、断熱材の性能劣化などを招きます。エアードライは、新規防水をかぶせる防水改修工事よりも、さらに効果的に水分を取り除くことが可能な下地処理方法です。建物を長く健全に保ち、建物の資産価値を高めます。

## 露出アスファルト防水の場合



アスファルト防水層内に水が溜まっている

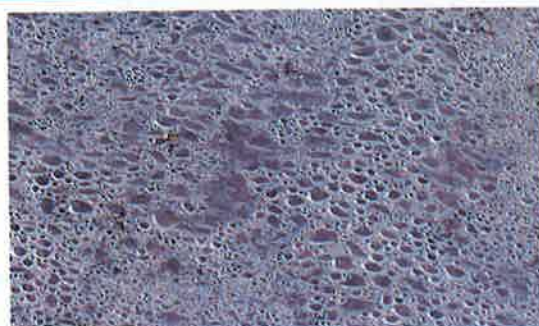


特にドレン周辺のアスファルト防水層内は水が溜まりやすく、既存アスファルト防水をめくると、水たまりのようになっている場合もあります。



アスファルト断熱防水の場合、防水層内の湿気によって、断熱材に多量の水分が含まれる場合もあります。

## 保護コンクリート工法の場合



フィルムを敷き詰めて、水分の混入量を調査すると、フィルム全面に結露水があらわれました。

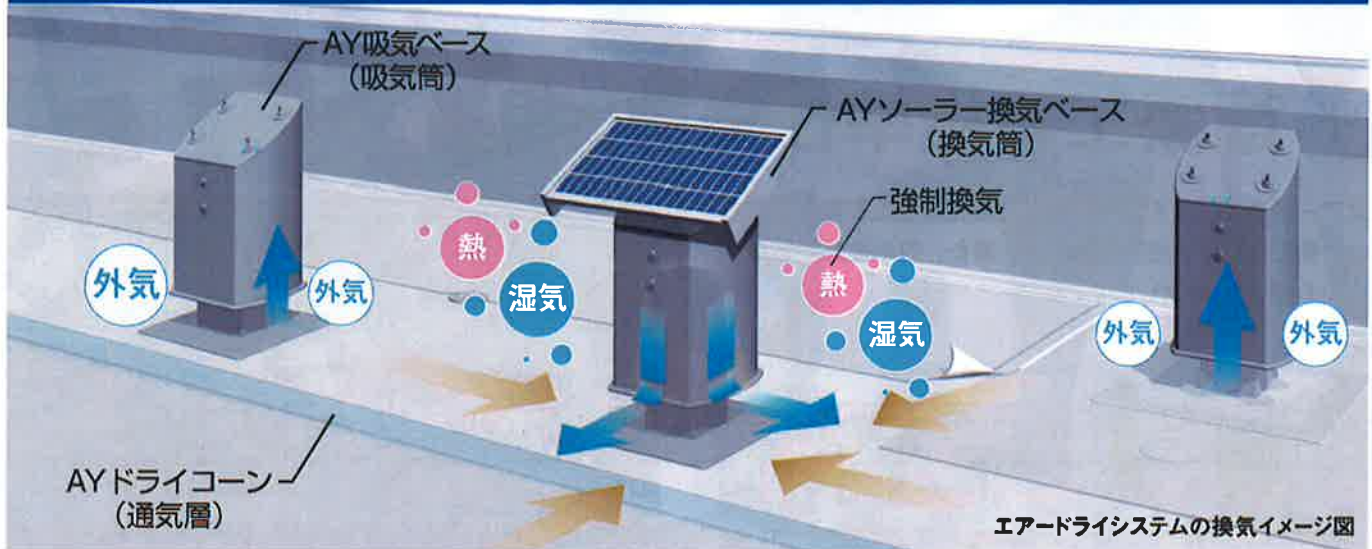
## ウレタン塗膜防水の場合



(写真左) ウレタン塗膜が割れ、躯体ヒビ割れ部分に水が侵入し、劣化が進行しています。

(写真右) 水分を含んだウレタン塗膜防水。躯体が一部劣化していることがわかります。

# 防水層の強制換気システム



## ● 栃木県某工場での導入事例



建設会社様

## 建設会社が下地の乾燥を「実感」

施工前は、ドレン部で防水層の切り口から水が出るほど防水層内に水が溜まっていた。このシステムを3期連続で施工後、1年前に施工した箇所を歩くと乾いているのを実感できた。

## 断熱材30mmと同等の省エネ性能

エアードライシステムを設置した屋根と断熱材(硬質ウレタンフォーム30mm)を敷設した屋根の1年間のエネルギー消費量は、ほぼ変わりません。エアードライシステムは、断熱材(硬質ウレタンフォーム30mm)と同等の省エネ効果があると確認されました。



冷房: 64.25[kWh]  
暖房: 586.13[kWh]  
全体: 650.38[kWh]



冷房: 62.15[kWh]  
暖房: 587.75[kWh]  
全体: 649.90[kWh]

測定場所: 産業技術総合研究所中部センター

測定期間: 2014年5月1日~2015年6月15日

エアコン設定温度: 冷房27℃ 暖房19℃ 一年間の消費エネルギーを測定

# 各種仕様に相当し、学会でも認められた性能

## ① 建築工事標準仕様書に相当

エアードライシステムは、国土交通省建築工事標準仕様書の仕様に相当する防水工法です。また、日本建築学会のJASS-8にも相当します。

23	機械的固定工法		23	非多層/多層・アンカー固定工法		(規格)
44	S-M2		44	MIH-SGM15 MIH-SW15	MIH-COOL15 MIH-HP20	P35-34
23	材料工法	施工法	23	固定工法		施工法
1	---	---	1	---		---
2	防湿シート敷設 （気密性）	---	2	防湿シート （気密性）		---
3	気密シート敷設 （1.5mm）の規格による設置	---	3	リベットルーフ SGM/SW/COOL/HP（1.5mmまたは2.0mm）		---
4	---	---	4	---		---

AYドライコーンが絶縁シートに相当します。

工法	建築工事標準仕様書	日本建築学会JASS-8
非断熱工法	S-M2相当	S-PM相当
断熱工法	SI-M2相当	S-PMT相当

23	機械的固定工法		23	非多層アンカー固定新工法		(規格)
44	SI-M2		44	MIH-SGM15NU MIH-SW15NU MIH-COOL15NU MIH-HP20NU	MIH-SGM15S MIH-SW15S MIH-COOL15S MIH-HP20S	PS1-32
23	材料工法	施工法	23	材料工法		施工法
1	---	---	1	---		---
2	防湿フィルム/敷設材 <sup>(注1)</sup>	---	2	防湿フィルム/リベットルーフ	防湿フィルム/リベットルーフ	---
3	防湿シート敷設 <sup>(注2)</sup>	---	3	可動部行跡処理(部材)付きのため 防湿シートは不要		---
4	気密シート敷設 （1.5mm）の規格による設置	---	4	リベットルーフ SGM/SW/COOL/HP（1.5mmまたは2.0mm）		---

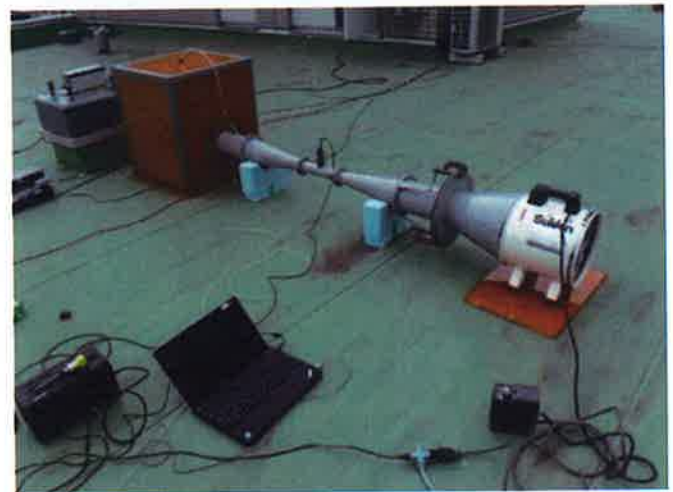
AYドライコーンが防湿フィルムに相当します。

## ② 通気の優位性が建築学会で報告

エアードライシステムの換気性能について、財団法人建築建材センターで評価され、その優位性が証明されました。試験報告が2017年に開催された建築学会で報告されています。

「排気ファン付き脱気筒の方が、強制的に防水層内の換気が行われるため、圧抜き及び湿気の排出効果は高いと思われる」

防水層の通気性能実態について  
一般財団法人 建築建材センター 松本知大氏の論文より引用



本社 / 大阪府吹田市江の木町24-10  
東京支店 / 東京都墨田区堤通1-19-9(リバーサイド隅田・セントラルタワー)

JRC 日本リベットルーフ防水工業協同組合

仙台営業所 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-1-35(三共仙台ビル) TEL.022-291-0877	名古屋営業所 愛知県名古屋市名東区上社1-902(善高ビル) TEL.052-777-5561
埼玉営業所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-263(Y.S.Tビル) TEL.048-641-4720	大阪営業所 大阪府吹田市江の木町24-10 TEL.06-6385-1261
東京営業所 東京都墨田区堤通1-19-9(リバーサイド隅田・セントラルタワー) TEL.03-6657-1511	神戸営業所 兵庫県神戸市中央区雲井通4-2-2(マークラー神戸ビル) TEL.078-200-6081
千葉営業所 東京都墨田区堤通1-19-9(リバーサイド隅田・セントラルタワー) TEL.03-6657-1512	広島営業所 広島県広島市西区南観音8-6-8 TEL.082-503-5153
横浜営業所 神奈川県横浜市中区太田町6-84-2(三井生命横浜桜木町ビル) TEL.045-661-3563	福岡営業所 福岡県福岡市博多区覆田2-1-12 TEL.092-472-9611

設計お問い合わせ窓口	設計推進部 東日本設計推進課 TEL.03-6657-1563 FAX.03-6657-0429	【ホームページ】 <a href="http://www.a-yamade.co.jp">http://www.a-yamade.co.jp</a>
	設計推進部 西日本設計推進課 TEL.06-6385-8545 FAX.06-6337-0192	【お問い合わせメールアドレス】 <a href="mailto:customer@a-yamade.co.jp">customer@a-yamade.co.jp</a>

本カタログ掲載の製品写真は、印刷物のため実際の色とは多少異なります。